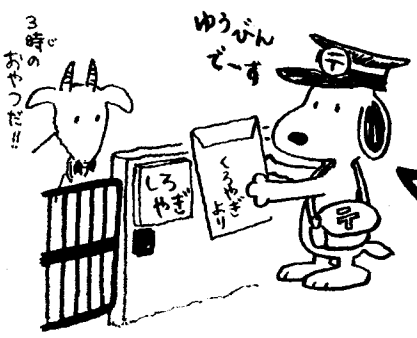


ちょっと

よんで
みようかな

てがみ パウロの手紙

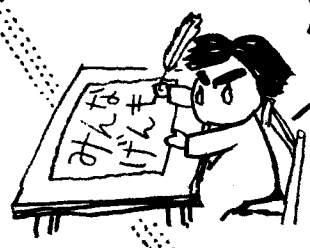
別冊



てがみ
お手紙 もらうの、うれしいね。
こころが いっぱい つまえているから。
パウロも、教会のみんなを元気に
しようと、たくさん お手紙 書きました。
どんなことが 書いてあるのかな。

このとおり

わたしは今
こんなに大きな字で、
自分の手であなたがたに書いて
います



ガラテヤ
6章11節

体を住みか
と
体をはなれていても、
体を離れても、
離れたら
主
喜ばれる者でありたい



2009.5月号別冊
発行元: ス又校長



惜し
まず
豊かに
時く
人は
刈り入れも豊か
なのです。
喜んで与える人
を
神は愛してくださるから
です。

IIコリント
9章6、7節【一部略】



喜ぶ人と共に喜び
泣く人と共に泣きなさい。

ローマ12章15節



クリストの平和が
あなたにわたしの心を支配するように
(コロサイ 3:15)

あなたがたは、
このパンを食べ、この杯を飲むごとに、
主が来られるときまで、
主の死を告げ知らせるのです。

Iコリント11章26節



わたしが福音を
告げ知らせても、それは
わたしの誇りにはなりません。
そうせずには
いられないからです。

Iコリント9章16節

知識は人を高ぶらせるが
愛は造り上げる

Iコリント8章1節



しんこう きぼう あい
信仰と、希望と、愛。
 この三つは、いつまでも残る。
 その中で最も大いなるものは、
愛である。 Iコリント 13章13節

しん (ラテン語 fides) +
 信・希望 (" spes)
 あい (" caritas)
 を、三神徳などと
 呼ぶことがあります。

実に**信仰**は聞くことにより、
 しかも、キリストの**言葉**を聞く
 ことによって始まるのです。
 โรม 10章17節

光の子として
 歩みなさい。 Iエペソ 5章8節

↑パウロの**愛の賛歌**の
 さいごをかざる ことばです。
 大切なものは、植える者でも水を注ぐ者でもなく、
成長させてくださる神です。 Iコリント 3章7節

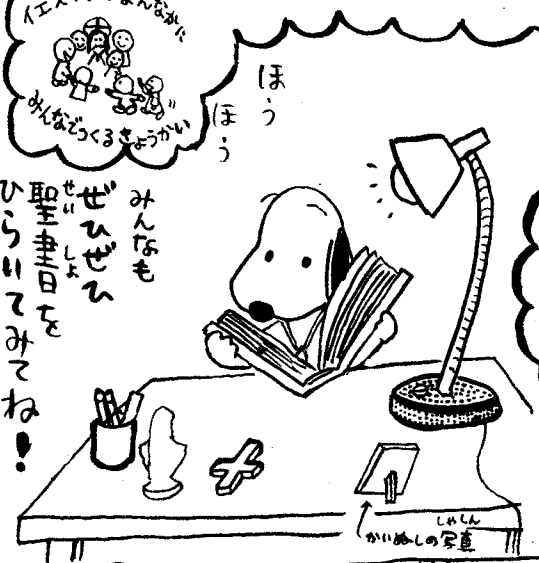
あなたの持っているもので、
 いただかなかったものがあるでしょうか。
 もし いただいたのなら、
 なぜ いただかなかったような**顔**をして
 高ぶるのですか。 Iコリント 4章7節

▶ **いつも喜んでいなさい。絶えず祈りなさい。どんなことにも感謝しなさい。**

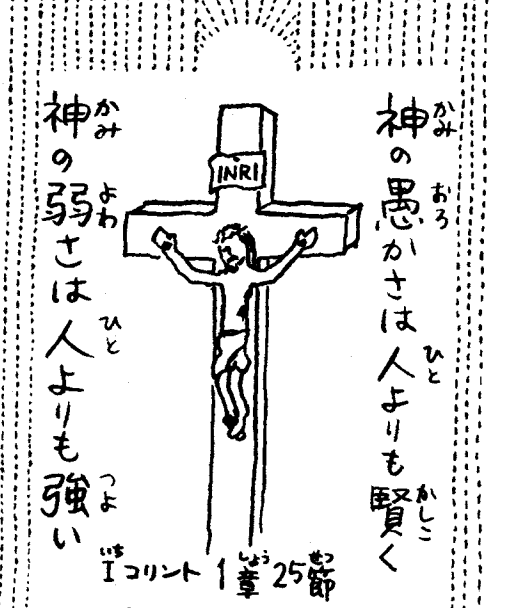
Always be joyful; pray constantly; and for all things give thanks.

からだ ひとつも 多くの部分 から 成り、
 体のすべての部分の数は多くても、**体は**一つであるように、
キリストの場合も同様である。

神がお造りになったものはすべて良いものであり、
感謝し受けるならば、
 何一つ捨てるものはない Iテモテ4章4節



もし**体全体**が目だったら、
 どこで聞きますか。
 もし**全体**が耳だったら、
 どこにおいをかぎますか。
あなたがたはキリストの体であり、
 また、一人一人は
 その**部分**です。
 Iコリント12章12,17,27節



神の**弱**さは人よりも**強い**
 Iコリント1章25節

意外なところでは、“**働**かざる者**食**うべからず”が、パウロの手紙に由来するってこと。
 もとの意味からずれちゃっていますが、IIテサロニケ3章10節を、レーニンが引き合いに出し、広まったようです。